

新時代を拓く学校づくりのあり方

～コンピテンシーベースの学びの空間づくりに向けて～



2019年5月23日（木） 14時半～16時半（14時～受付開始）

対 象：自治体、私学関係者、教職員、設計者など

会 場：同志社中学校・高等学校

参加費：無料

定 員：60人（前日締切・申し込み順）※ご来場の際は名刺をご持参ください

□プログラム

14：30～14：35 開会あいさつ

14：35～14：55 課題提起「（仮題）小・中学校施設整備指針改訂の視点と内容」
教育環境研究所所長 長澤悟

14：55～15：35 講演1「（仮題）施設環境を生かした教育の創造」
同志社中学校・高等学校 副校長 竹山幸男先生

15：35～15：45 休憩

15：45～16：25 講演2「（仮題）学校施設計画の動向と課題」
教育環境研究所 主任研究員 野島直樹

16：25～16：30 閉会あいさつ

※なお、閉会后、希望者には校内の案内をする予定です。

□主題

2020年に完全実施となる新学習指導要領は、これまでの知識・技能の習得から資質・能力の育成へ教育目標が変わる画期的なものでした。また教育方法にまで踏み込み、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点からの授業改善が求められています。

こうした教育の転換点において、学校施設はどのように対応すべきか、あるいは教育の変革をどう支えていくかが問われます。

本セミナーでは、新学習指導要領に対する学校施設整備指針改訂等の文部科学省の動向を踏まえ、先進的な教育空間を生かした同志社中学校の教育実践報告と、教育環境研究所がこれまで関わってきた学校施設の事例紹介を通して、新時代の学校施設像のあり方やそれを実現する設置者・設計者等のあり方を皆様と一緒に考える機会としたいと思います。

ご参加をお待ちしております。

長澤 悟 (ながさわ さとる)
 教育環境研究所 所長 工学博士
 東洋大学名誉教授

A-WASS(木と建築で創造する共生社会実践研究会)会長
 東京大学大学院博士課程修了後、東京大学助手、日本大学助教授・教授、東洋大学工学部教授を経て現在に至る。専門は建築計画学、建築設計、特に教育方法等の多様化に対応した学校施設計画、地域づくり、木の建築づくり等。教職員・保護者・住民・子どもたちが参加する計画プロセスによる学校づくりを全国で数多く実践する。

竹山 幸男 (たけやま ゆきお)
 同志社中学校・高等学校 副校長
 同志社大学法学部卒業後、同志社中学校教員。
 2010年より、現職

野島 直樹 (のじま なおき)
 教育環境研究所 主任研究員
 北海道大学大学院修士課程修了
 2001年より教育環境研究所勤務
 主な担当計画実績
 高千穂幼稚園(東京都杉並区)、同志社小学校
 陸前高田市立気仙小学校、新宮市立神倉小学校
 坂井市立丸岡南中学校、南部町立名川中学校
 川崎市立はるひ野小中学校、ほか多数

〒606-8558 京都市左京区岩倉大鷲町89
 同志社中学校・高等学校 立志館(予定)
 ※受付場所等は各門の案内をご確認ください。

電車
 京都市営地下鉄烏丸線国際会館駅2番出口正面
駐車場
 なし(お車でのご来場はご遠慮ください)



必要事項をご記入の上、E-mailまたはFAXにてお申込み下さい

E-mail: info@iee-net.co.jp / FAX: 03-6205-8529

所属名	フリガナ	
ご住所	〒	
お電話 (ご連絡先)		
E-mail		
		学校見学
参加者ご氏名		参加・不参加
		参加・不参加